

第4回目講座「地図の読み方」実技記録

第20期 坂田美由紀記

コースタイム：軍畑駅出発 9:35

ここから班行動、榎本運営委員と受講生4名 コンパスで入口を確認する。

- ① 平溝橋分岐 9:50～9:53 この後川をまたぐ。
- ② 高源寺登山道入口 10:08～10:12 お参りする人あり。
水分補給ここからが登山！という講師の声を聞きながら緊張して出発。
- ③ 沢からの登り 10:33～10:36 途中に堰があった。
- ④ 尾根に乗る 10:49～11:00
- ★ 山頂手前のあずまやで昼食をとる。11:28～12:07 雨が落ちてきてかっぱを着る。
- ⑤ 高水山頂 12:11～12:17
- ⑥ 高水山から2個のコル 12:28～12:29
- ⑦ 巻き道との分岐 12:37～12:40
- ⑧ 岩茸石山頂 12:49～12:52
- ⑨ 馬仏山 723m ピーク 13:21～13:25
道に迷い、ポイントが見つからず時間がかかった。雨もやみ、かっぱを脱ぐ。
- ⑩ 惣岳山頂 13:48～13:55
- ⑪ ヘアピンカーブ 14:20～14:21
地図で送電線を三回くぐることを確認して進んだ。
- ⑫ 沢井駅方面への分岐 14:38 ここで雨が降りかっぱを着る。
- ⑬ 沢井駅 15:10
一時間ほど待ち、全員そろったところで、講師挨拶。班ごとに一日の反省をし、解散。16:23 発の電車に乗り帰路につく。



★ 地図の見方、コンパスの使い方は、大分わかるようになりました。

第4回目講座「地図の読み方」を受講して

第20期 若林 信彦記

一日目 机上講座

今回は私が一番勉強したかった「地図読み」講座です。本命登場に前日の夜は左手に事前案内、右手にビールを持ち自分自身でモチベーションをアップさせてました。

今回地図の読み方だけと思っていましたが、講義を始めると、山岳遭難の話が始まりました。過去の遭難者数を見ると道迷い41.6%が圧倒的に多く、その原因の中で人為的ミスが事前準備不足・判断の誤りにより、その結果が遭難！怖い怖いと思いながらも明日は我が身と考えるとしっ

かり勉強しなくては。

今まで地図は案内看板とかネットの簡易的な地図を見ながら登っていましたが、コンパスと国土地理院地図を見ながら実際に目標地を目指しながらの登山は初めて、そして地図の記号は小学生の社会科で見た遠い記憶が・・・一番苦戦したのは尾根と沢の見分け方でした。全然理解ができませんでしたが、講師のアドバイスが上手いのか理解ができ、見えるようになり頭の中で立体的なイメージも湧きとても楽しかったです。



2日目 実地学習

9キロ超えの山行で楽しめそうと思いながら電車で揺られながら高水三山に向かいました。

まずはコンパスを地図で目的地に合わせて方向確認！そして班のみんなで方向があっているかの答えあわせをしました。昨日の机上学習でコンパスの使い方の勉強をした成果で班全員しっかりとコンパスの使い方を習得しておりみんな優秀でした。

今回の山行で一番勉強になった事！それは魔の9番ポイントでした。

道迷いをしました

初めての経験でしたが、みんな冷静でした。地図を見ながら、気を付けながら山行しても目印は見落とすんですね。

道迷いした時は、自分を信じるより自分を疑い、来た道に戻る勇気が必要だなと実感しました。その後は無事に何事もなく終わりましたが、登山学校入る前に知識もなく同じ状況になっていたら、本格的な遭難に発展してしまう可能性もありましたね。

まだまだ、知識も経験も少なく判断が甘いところもあるので、自分の身を守る為にも必須な講座ではなかったでしょうか。



第4回目講座「地図の読み方」を受講して

第20期 佐藤真理子記

9月5日、地図読みの机上講座。もともと地理が苦手だったし、今まで山の会でも先輩から地図の見方を教えてもらっていても、用語からチンプンカンプンで、全く頭に入ってきませんでしたが、今回の講座で地図の奥深さに感動しました。地図記号も「子供のころに見たことがある」と懐かしくなり、もう少しまじめに勉強しておけばよかったなと反省しました。

今回「山と高原地図」と「2万5千分の1地図」の役割の違いを感じ、両方それぞれに大切で、特に全く理解できなかった「2万5千分の1」地図の等高線により地形が見えてくるということには本当に感動しました。



9月6日9時15分 軍畑駅集合。3班は朝から波乱万丈でした。まじめなキャラのIさんが電車を乗り間違えて遅れてしまうと連絡があり、自分のことのようにハラハラしていましたが、なんと青梅からタクシーで来たと、集合時間に間に合いました。山にかける情熱、まじめな性格、素晴らしい！

いざ高水三山に出発。ぐずついた天気不安を感じながら、昨日の地図読みの地図記号や地形を復習しながら、地形と重ねて地図を見ると、なんて楽しいのだろうと思いました。

まだまだ分からないけれど、大の苦手ではなく、勉強してみたいなという気持ちになれました。駒崎先生から山菜やお花の名前を教えていただいたり、むかごを食べてごらんと手渡されたり、自然を満喫です。駒崎先生も昔ままごとで使ったとか・・・？意外な一面をお聞きし、幼少時代を想像してしまいました。

高源寺からの登坂はグイグイ行っていると実感できるほどで、山頂に近づくにつれ達成感を感じることができました。常福院のあずまやで休憩した頃にカッパを着ようか迷うくらいの雨が降り始め、着たり脱いだりしました。下山までずっとそんな調子でしたが、林を抜けた途端大振りだったので、木々が雨を防いでくれたのだと驚きました。

コースは川沿いあり、急勾配あり、岩あり、急な下り坂ありで、見事にいろいろな地形が凝縮され、地図読みの勉強のコースに選んだことが納得できました。雨の中だったので滑るのではないかと変な力がかかりましたが、無事下山することができました。

途中自分が先頭の時に馬仏山への分岐点を見逃してしまい、まき道してしまったことが残念で、3班の他のメンバーたちが物足りなかったのではなかったかと申し訳なく思っています。また機会があったら、ぜひ完全制覇したいと思います。

今回の登山で、また一段と山の楽しさを実感しました。ありがとうございました。

